

開講科目名 / Course	教育原理 / Principles of Education
時間割コード / Course Code	VED1002
ナンバリングコード / Numbering Code	
開講所属 / Course Offered by	教職科目 / Teaching Course
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester
曜限 / Day, Period	金 / Fri. 6
開講区分 / semester offered	1学期 / 1Term
単位数 / Credits	2.0
学年 / Year	1,2,3,4,5,6
主担当教員 / Main Instructor	降旗 信一 / FURIHATA Shinichi
科目区分 / Course Group	教職科目 教職に関する科目 / 教職科目 教職に関する科目
教室 / Classroom	1講 - 24 / 1講 - 24
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	降旗 信一 / FURIHATA Shinichi (農学部 / Faculty of Agriculture)、岡 健吾 (農学府 / Graduate School of Agriculture)
概要 / Outline	<p>1.教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解する。</p> <p>2.教員として必要なスキルを身につける。</p>
到達基準 / Standard	<p>教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解する。</p> <p>(1)教育の基本的概念 一般目標：教育の基本的概念を身に付けるとともに、教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を理解する。 到達目標： 1)教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標を理解している。 2)子供・教員・家庭・学校など教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係を理解している。</p> <p>(2)教育に関する歴史 一般目標：教育の歴史に関する基礎的知識を身に付け、それらと多様な教育の理念との関わりや過去から現代に至るまでの教育及び学校の変遷を理解する。 到達目標： 1)家族と社会による教育の歴史を理解している。 2)近代教育制度の成立と展開を理解している。 3)現代社会における教育課題を歴史的な視点から理解している。</p> <p>(3)教育に関する思想 一般目標：教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育及び学校との関わりを理解している。 到達目標： 1)家庭や子供に関わる教育の思想を理解している。 2)学校や学習に関わる教育の思想を理解している。 3)代表的な教育家の思想を理解している。</p> <p>教職課程履修年次に応じて、教員として必要なスキルを身につける。 教職履修1年目：1回の授業を行うためのスキルを身につける。 教職履修2年目：1つの単元を企画運営するためのスキルを身につける。 教職履修3、4年目：教育実習を行うためのスキルおよび教育実習校・地域の教育活動に貢献するためのスキルを身につける。</p>

<p>授業内容 / Schedule</p>	<p>授業日程</p> <p>第1回(工4/11・農4/12) シラバス説明及びテキスト紹介</p> <p>第2回(工4/18・農4/19) 学校見学について</p> <p>第3回(工4/25・農4/26) 自己紹介プレゼンテーション・授業参加のための基本スキル取得</p> <p>第4回(工5/2・農5/10) 教職コアカリレクチャー</p> <p>第5回(工5/9・農5/17) 教職ワークショップ</p> <p>第6回(工5/16・農5/24) 学校見学</p> <p>第7回(工5/23・農5/31) 教科書分担、テキスト1章2章レクチャー</p> <p>第8回(工5/30・農6/7) テキスト3章4章レクチャー</p> <p>第9回(工6/6・農6/14) テキスト1章「良い教育ってどんな教育?」、2章「教育を社会の視点から考えてみよう」</p> <p>第10回(工6/13・農6/21) テキスト3章「子どもという存在/人間という存在」、4章「教え方は試行錯誤されてきた」</p> <p>第11回(工6/20・農6/28) テキスト5章「教育を受ける権利」、6章「子どもの学びを支える仕組み」</p> <p>第12回(工6/27・農7/5) テキスト7章「子どものための学校ってどんな学校?」、8章「学校では何を学ぶの?」</p> <p>第13回(工7/4・農7/12) テキスト9章「良い先生ってどんな先生?」、10章「どんなふう子どもに接したらよいのか?」</p> <p>第14回(工7/11・農7/19) テキスト11章「子どもがよく学ぶためには?」、12章「学校を卒業したら学ばなくてもよいのか?」</p> <p>第15回(工7/18・農7/26) テキスト13章「教育と学校の未来はどうなるの?」</p> <p>【各回の授業は第1回～第8回は対面、第9回～第15回はオンラインで行います。】</p>
<p>履修条件・関連項目 / Requirements</p>	<p>教職科目なので教員免許取得を目指していることが前提となります</p>
<p>テキスト・教科書 / Text book</p>	<p>問いからはじめる教育学(有斐閣ストゥディア)1800円+税</p>
<p>参考書 / Reference book</p>	<p>日本国憲法、教育基本法、教育振興基本計画、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領</p>
<p>成績評価の方法 / Grading</p>	<p>成績評価方法は、すべての出席を前提とし、双方向性を利用した学習意欲、2022前期「教育原理」教科書レポート、2022前期教職スキル学習レポート等を総合的に評価し、本学が定める標準的な学修時間に相当する学修効果が認められる場合に単位を付与します。評価の割合は以下の通りです。平常点 30%、2022前期「教育原理」教科書レポート 30%および2022前期教職スキル学習レポート(学校見学レポート) 40%で評価します。総合評価により以下の基準で単位を付与します。S: 90点以上、A: 80点以上 90点未満、B: 70点以上 80点未満、C: 60点以上 70点未満。60点未満は不合格となります。</p>
<p>教員から一言 / Something</p>	<p>これからの教育には、「社会の課題や困難を認識し、その解決に向けたアイデアを生みだし、そのアイデアを具体的な製品やサービスの創出につなげることのできるヒトの育成」が求められています。学校や地域の「現場」ともかかわりあいながら、ともにそのあり方を探求していきましょう。</p>
<p>キーワード / Keyword</p>	
<p>オフィスアワー / Office Hours</p>	

備考 1 / Note 1	<p>【レポートの書き方について】</p> <p>以下の観点により採点する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で考え、記述したものであるか。（剽窃・複写が判明した場合は0点とする。友人間で同様の行為を行ったと判定した場合は双方ともに0点とする。） ・授業テーマにそった課題設定となっているか。 ・引用と自分の主張を明確に区別できているか。 ・要求されている文字数を満たしているか。 ・表題及び全体の構成の仕方は適切か。 ・結論の導き方は妥当か。 ・提示された論点は明確か。 ・そのあとのグループ討議を刺激するような有益かつ魅力的な情報を提供しているか。
備考 2 / Note 2	クラスコード hgbsfpb
参照ホームページ / Url	
開講言語 / Teaching language	日本語/Japanese
語学学習科目 / Language study subjects	英語/English

開講科目名 / Course	教育原理 / Principles of Education
時間割コード / Course Code	V0216
ナンバリングコード / Numbering Code	
開講所属 / Course Offered by	教職科目 / Teaching Course
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester
曜限 / Day, Period	木 / Thu. 6
開講区分 / semester offered	1学期 / 1Term
単位数 / Credits	2.0
学年 / Year	1,2,3,4
主担当教員 / Main Instructor	降旗 信一 / FURIHATA Shinichi
科目区分 / Course Group	教職科目 教職に関する科目 / 教職科目 教職に関する科目
教室 / Classroom	L1321 / L1321
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	降旗 信一 / FURIHATA Shinichi (農学部 / Faculty of Agriculture)、板倉 浩幸 (農学府 / Graduate School of Agriculture)
概要 / Outline	<p>1.教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解する。</p> <p>2.教員として必要なスキルを身につける。</p>
到達基準 / Standard	<p>教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解する。</p> <p>(1)教育の基本的概念 一般目標：教育の基本的概念を身に付けるとともに、教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を理解する。 到達目標： 1)教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標を理解している。 2)子供・教員・家庭・学校など教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係を理解している。</p> <p>(2)教育に関する歴史 一般目標：教育の歴史に関する基礎的知識を身に付け、それらと多様な教育の理念との関わりや過去から現代に至るまでの教育及び学校の変遷を理解する。 到達目標： 1)家族と社会による教育の歴史を理解している。 2)近代教育制度の成立と展開を理解している。 3)現代社会における教育課題を歴史的な視点から理解している。</p> <p>(3)教育に関する思想 一般目標：教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育及び学校との関わりを理解している。 到達目標： 1)家庭や子供に関わる教育の思想を理解している。 2)学校や学習に関わる教育の思想を理解している。 3)代表的な教育家の思想を理解している。</p> <p>教職課程履修年次に応じて、教員として必要なスキルを身につける。 教職履修1年目：1回の授業を行うためのスキルを身につける。 教職履修2年目：1つの単元を企画運営するためのスキルを身につける。 教職履修3、4年目：教育実習を行うためのスキルおよび教育実習校・地域の教育活動に貢献するためのスキルを身につける。</p>

<p>授業内容 / Schedule</p>	<p>授業日程</p> <p>第1回(工4/11・農4/12) シラバス説明及びテキスト紹介</p> <p>第2回(工4/18・農4/19) 学校見学について</p> <p>第3回(工4/25・農4/26) 自己紹介プレゼンテーション・授業参加のための基本スキル取得</p> <p>第4回(工5/2・農5/10) 教職コアカリレクチャー</p> <p>第5回(工5/9・農5/17) 教職ワークショップ</p> <p>第6回(工5/16・農5/24) 学校見学</p> <p>第7回(工5/23・農5/31) 教科書分担、テキスト1章2章レクチャー</p> <p>第8回(工5/30・農6/7) テキスト3章4章レクチャー</p> <p>第9回(工6/6・農6/14) テキスト1章「良い教育ってどんな教育?」、2章「教育を社会の視点から考えてみよう」</p> <p>第10回(工6/13・農6/21) テキスト3章「子どもという存在/人間という存在」、4章「教え方は試行錯誤されてきた」</p> <p>第11回(工6/20・農6/28) テキスト5章「教育を受ける権利」、6章「子どもの学びを支える仕組み」</p> <p>第12回(工6/27・農7/5) テキスト7章「子どものための学校ってどんな学校?」、8章「学校では何を学ぶの?」</p> <p>第13回(工7/4・農7/12) テキスト9章「良い先生ってどんな先生?」、10章「どんなふう子どもに接したらよいか?」</p> <p>第14回(工7/11・農7/19) テキスト11章「子どもがよく学ぶためには?」、12章「学校を卒業したら学ばなくてもよいか?」</p> <p>第15回(工7/18・農7/26) テキスト13章「教育と学校の未来はどうなるの?」</p> <p>【各回の授業は第1回～第8回は対面、第9回～第15回はオンラインで行います。】</p>
<p>履修条件・関連項目 / Requirements</p>	<p>教職科目なので教員免許取得を目指していることが前提となります</p>
<p>テキスト・教科書 / Text book</p>	<p>問いからはじめる教育学(有斐閣ストゥディア)1800円+税</p>
<p>参考書 / Reference book</p>	<p>日本国憲法、教育基本法、教育振興基本計画、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領</p>
<p>成績評価の方法 / Grading</p>	<p>成績評価方法は、すべての出席を前提とし、双方向性を利用した学習意欲、2022前期「教育原理」教科書レポート、2022前期教職スキル学習レポート等を総合的に評価し、本学が定める標準的な学修時間に相当する学修効果が認められる場合に単位を付与します。評価の割合は以下の通りです。平常点 30%、2022前期「教育原理」教科書レポート 30%および2022前期教職スキル学習レポート(学校見学レポート) 40%で評価します。総合評価により以下の基準で単位を付与します。S: 90点以上、A: 80点以上 90点未満、B: 70点以上 80点未満、C: 60点以上 70点未満。60点未満は不合格となります。</p>
<p>教員から一言 / Something</p>	<p>これからの教育には、「社会の課題や困難を認識し、その解決に向けたアイデアを生みだし、そのアイデアを具体的な製品やサービスの創出につなげることのできるヒトの育成」が求められています。学校や地域の「現場」ともかかわりあいながら、ともにそのあり方を探求していきましょう。</p>
<p>キーワード / Keyword</p>	
<p>オフィスアワー / Office Hours</p>	

備考 1 / Note 1	<p>【レポートの書き方について】</p> <p>以下の観点により採点する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で考え、記述したものであるか。（剽窃・複写が判明した場合は0点とする。友人間で同様の行為を行ったと判定した場合は双方ともに0点とする。） ・授業テーマにそった課題設定となっているか。 ・引用と自分の主張を明確に区別できているか。 ・要求されている文字数を満たしているか。 ・表題及び全体の構成の仕方は適切か。 ・結論の導き方は妥当か。 ・提示された論点は明確か。 ・そのあとのグループ討議を刺激するような有益かつ魅力的な情報を提供しているか。
備考 2 / Note 2	クラスコード zy3wur4
参照ホームページ / Url	
開講言語 / Teaching language	日本語/Japanese
語学学習科目 / Language study subjects	英語/English